

学習指導要領		都立狛江高校 学カスタンダード
<p>(2) 近代の日本と世界</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p> <p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に着目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p>	<p>○世界情勢を踏まえ、開国に至る背景を説明できるか。</p> <p>○不平等条約の内容を説明できるか、また、締結された条約が日本にどう影響をもたらしたか理解しているか。</p> <p>○日米和親条約・日米修好通商条約の締結、開港による経済・社会の情勢変化に着目して、幕末の政局への影響を考察できたか。</p> <p>○公武合体、尊王攘夷、倒幕の動きに着目して、権力構造の変化を理解できたか。</p> <p>○廃藩置県・四民平等・徴兵制・秩禄処分・地租改正・殖産興業政策に着目して、明治政府が中央集権体制を構築していく過程を考察できたか。</p> <p>○近代化政策や欧米文化の導入について、国民の間に受容と反発があったことを理解できたか。</p> <p>○国境画定を含む明治初期の外交政策について、欧米諸国への対応とアジア諸国への対応の違いを多面的・多角的にとらえられることができたか。</p> <p>○政府への不満・要求の実現が、武力反抗から言論による抵抗に移行したことを判断できたか。</p> <p>○国会開設要求の運動などにみられる国民の政治的関心の高揚と挫折の過程について考察できたか。</p> <p>○憲法の特徴、技家と選挙の仕組み、内閣のあり方などを通して、戦前の立憲制の仕組みを理解できたか。</p> <p>○憲法の特徴、技家と選挙の仕組み、内閣のあり方などを通して、戦前の立憲制の仕組みを理解できたか。</p> <p>○条約改正が、法典整備など国内体制の確立だけでなく、英露対立を背景にして進展した点を、年表や地図から判断できたか。</p> <p>○朝鮮を巡る対立が日清戦争の背景となった点を理解できたか。○開戦への過程を英露対立など世界情勢と関連付けて捉えることができたか。</p>	

学習指導要領	都立狛江高校 学カスタンダード
<p>イ近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (ア) 産業革命の進行，都市や村落の生活の変化と社会問題の発生，学問・文化の進展と教育の普及，大衆社会と大衆文化の形成に着目して，近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ近代の追究 近代における政治や経済，国際環境，国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から，産業と生活，国際情勢と国民，地域社会の変化などについて，具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して，歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>イ内容の(2)のウ及び(3)のウについては，資料を活用して歴史を考察したりその結果を表現したりする技能を高めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地図から欧米列強の利害を読み取れたか。 ○藩閥・政党・軍部・官僚・元老の関わりの中から，立憲政治の特徴を理解できたか。 ○開戦への過程を英露対立など世界情勢と関連付けて捉えることができたか。 ○日露戦争が軍事力・経済力・工業力など国家の総力を結集して戦われた点を考察できたか。 ○日露戦争における日本の勝利がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激したことを理解できたか。 ○韓国併合や満州進出の動きは国民の対外意識や諸外国の対応の変化につながったことについて考察できたか。 ○殖産興業政策を基礎に，禁輸制度など産業基盤の整備が進み，繊維産業の部門で産業革命が達成されたことを総合的に考察できたか。 ○劣悪な労働条件に対する労働争議の頻発と社会主義運動の高まり，社会運動への政府の対応に着目できたか。 ○国民が主体的に文化の創造に取り組んできた姿勢を理解できたか。国民生活の変化を大きくつかむことができたか。 ○欧米からアジアに至るまで広い範囲の国際環境の推移に着目し，第一次世界大戦と日本との関連を理解できたか。 ○大正政変以降デモクラシー思想の浸透により政党勢力が国民統合の中心的役割を果たしていく過程を理解できたか。 ○パリ講和会議を機に起こった中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目できたか。○ワシントン体制への日本の対応と協調外交について考察できたか。 ○第二次護憲運動・護憲三派内閣による普通選挙法・治安維持法の成立などに着目して政党政治を考察できたか。 ○大戦景気による産業構造の変化や労働者の増加な

学習指導要領		都立狛江高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代の日本と世界</p>	<p>第二次世界大戦後の政治や経済，国際環境，国民生活や文化の動向について，現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p>	<p>ど社会構造の変化について判断できたか。</p> <p>○学問・芸術・出版・マスメディアなどを具体的に引き上げ，欧米文化の関わりとその浸透度，社会風潮との関連付けに着目することができたか。</p> <p>○金融恐慌・昭和恐慌を引き上げ，背景となる関東大震災・金解禁・世界恐慌との関連を含めて理解できたか。</p> <p>○山東出兵や統帥権干犯問題など軍部の政治的進出を背景に協調外交から積極外交へと転換していく過程を考察できたか。</p> <p>○満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の国際的孤立の過程について，国内外対応を踏まえて考察できたか。</p> <p>○政治家・財界人へのテロ事件や，学問への思想的弾圧などを踏まえ，軍部の政治関与が増大した過程を考察できたか。</p> <p>○日中戦争の長期化に伴いすすめられた戦時体制下の経済統制と国民生活など，様々な角度から考察できたか。</p> <p>○連合国と枢軸国の性格の違いやドイツ・ソ連との提携の過程について考察する。</p> <p>○満州事変・日中戦争から太平洋戦争まで戦域の拡大と性格の相違を考察できたか。</p> <p>○戦争末期における国民生活の荒廃とその背景を考察できたか。</p> <p>○GHQ における諸政策が，対日占領政策に基づくとともに，日本の国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気付くことができたか。</p> <p>○急激な価値観の転換は，混乱を伴いながらも受け入れられていったことを理解できたか。</p> <p>○東アジア情勢の変化と占領政策の転換を日米関係と関連付けて理解できたか。</p> <p>○冷戦構造下の日本で，55年体制により，安定した保守政権が成立した意義を理解できたか。</p> <p>○先進国首脳会議が，その後世界的な問題解決の場となったことに気付くことができたか。</p> <p>○55年体制が崩壊し，政治状況，財政状況などを考察できたか。</p>

学習指導要領		都立狛江高校 学カスタンダード
<p>(4) 近代日本の形成と世界</p>	<p>ア現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革，新憲法の成立，平和条約と独立，国際交流や国際貢献の拡大などに着目して，我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興，高度経済成長と科学技術の発達，経済の国際化，生活意識や価値観の変化などに着目して，日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ現代からの探究 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から，近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ，資料を活用して探究し，その解決に向けた考えを表現する活動を通して，歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>○バブル経済から平成不況へとすすんだ経済状況などを把握できたか</p> <p>○平成不況から現在までをどのように評価すべきか、個人の見解を持つことができたか。</p>